

Photo ふなばし

市立船橋高校・三田中学校

とくしゅう
PART 1

船橋っ子 全国大会 大健闘!

とくしゅう PART 2

- 市政トピックス ● 街角ホットニュース
- 私のカメラアイ ● WE ARE IN FUNABASHI
- サークル通信

まちなかの文化財／ワンパク王国だより
ふなばしの民話／ビデオ講座



市内をくまなく
ネットワーク

船橋の路線バス



夕暮れのJR船橋駅北口

1月15日桜ヶ丘バス停で(金杉ア)



vol. 29

広報ふなばし写真版



第19回 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会は昨年12月25日から代々木第二体育館などで開催され、市立船橋高校は第3位と大健闘。12月28日の準決勝では今大会の覇者、強豪能代工業高校(秋田)と対戦、後半に入り一時リードしたものの接戦のすえ56対66で惜しくも敗れた。なお、翌日の3位決定戦では愛工大名電高校(愛知)を78対44の大差で下した。写真は準決勝対能代工業戦。

市立船橋高校
三田中学校

船橋っ子



インターハイ2連覇に輝く市立船橋高校サッカー部は、1月2日から10日まで開催された第67回全国高校サッカー選手権に県代表として出場、堂々準優勝に輝いた。決勝戦では清水市商業高校と対戦、夏冬の2冠を目前に積極的な攻撃で度々清水商のゴールを脅かしたが、ボールがゴールポストやクロスバーに当たるなどの不運で惜しくも0対1で敗れた。写真は準優勝の喜びにひたる市船イレブン。



必死で声援を送る市船応援団

全国大会 大健闘!



1区を力走する高橋哲也主将(3年)



ウォームアップにはいる柳倫明選手。



この時、市船は7位。周囲の期待も熱くなった。

船橋市は文化・スポーツの盛んなまち。この冬も船橋の生徒、子どもたちの活躍が続いています。まずスポーツでは市立船橋高校が大活躍。昨年11月に行われた全日本女子ジュニア・クロスカントリースキーリレー(優勝)に続き、全国高校駅伝(五位)、全国高校選抜バスケット(三位)、全国大会で輝かしい成績を収めました。昭和32年創立の市立船橋高校は男女共学の公立高校です。昭和58年に大橋和夫市長は「人もまちも健康でありたい」と「スポーツ健康都市」を宣言。これを受け同校に体育科を設置、以来優秀な選手を世に送り出しています。また、この3月には全国高校バレーボール大会に男女共に県代表として出場することが決定しています。

もう一つ、文化面ですばらしい成績を収めたのが三田中学校です。同校管弦楽部は、昨年12月4日、昭和63年度全国学校合奏コンクール中学の部でみごと最優秀校に選ばれました。昭和49年創立の三田中は現在生徒数千六百八十八人ですが、そのうち百三十人が管弦楽部員という市内でも有数の大きなクラブです。1月17日には同校体育館で表彰式と記念演奏会が行われ、つめかけた父母たちを魅了しました。このほか、昭和61年度高校演劇日本一に輝いた県立船橋二高校の演劇部が、1月27日から、船橋市民文化ホールで開催された関東高等学校演劇研究大会に出場するなど、船橋の生徒たちはスポーツに文化は大活躍を続けています。これからも、頑張る船橋っ子に熱い声援をお願いします。



前日、各区の走者が決定、ゼッケンが配られた。



芝山団地内を走る新京成バス

一日14万人が利用・市内をくまなくネットワーク化する 船橋の路線バス

地下駐車場の工事が着々と進むJR船橋駅。一日平均約30万人と県内の乗降客で混雑するコンコースには、三つの大きな人の流れがあります。一つは京成船橋駅から、一つは東武船橋駅から、そしてもう一つは

JR船橋駅に次々と到着するバスからの人の流れ。市民の足は、この市内を走る9本の鉄道と、その間を縦横に結ぶ路線バスが受け持っています。今回の特集では、この船橋の路線バスを追ってみることにしました。



JR船橋駅北口で



一日約14万人が利用する市内の路線バス、身近な交通手段として、その果たす役割は大きい。

昭和63年度全国学校合奏コンクール中学の部最優秀賞

三田中日本一!!



日本教育音楽協会会長から同協会賞を受賞する管弦楽部代表



市川恭一郎教育長から教育委員会教育長賞も贈られた。

三田中学校管弦楽部は、昭和63年度全国学校合奏コンクール中学の部で見事最優秀賞を獲得した。昨年12月4日に行われたテープ審査の結果選ばれたもので、この受賞により内閣総理大臣賞や日本教育音楽協会賞など合計10の賞を獲得した。1月17日には表彰式と記念演奏会が行われ、受賞曲の交響組曲「シェヘラザード」第4楽章（リムスキー・コルサコフ作曲）を披露した。同校体育館には千人以上の生徒や父母らがつめかけ、中学生とは思えない日本の演奏に惜しめない拍手が贈られた。



受賞に思わず顔がほころぶ管弦楽部の皆さん。



最後はみんなで「ふるさと」を合唱した。



受賞のお祝いにつけつけた父母の皆さん。



この日「シェヘラザード」のほか、「G線上のアリア」(バッハ作曲)も披露した。



京成船橋駅の踏切。ラッシュ時には人が道幅いっぱいに広がる。



満員の乗客を乗せ、JR西船橋駅北口午前0時14分発の深夜バス中沢行が出発。車庫に戻るのは午前1時近い。



駅前広場が区画整理されバス専用のロータリーも拡幅されたJR津田沼駅。



花輪車庫行きは赤い先行方向幕でおなじみ。



JR津田沼駅北口には、25系統ものバスが乗り入れている。



ラッシュが通り過ぎると、バスは買い物へ行くお母さんのものになる。



屋根付バス停留所も年々増えている。(JR東船橋駅北口)



京成海神駅付近。バスはジックのように走り抜ける。



約2200世帯が入居する芝山団地、最寄りの駅までの足はバスが一手に引き受けている。



運転手は、料金の収受、車内案内用テープの操作などやるべき仕事が多い。



バスが完全に止まるまで席をたたない。バス会社からのお願いです。



1日約4万人が利用するJR船橋駅北口のバスターミナル。ラッシュ時には次々とバスが到着。人の流れが切れることがない。

▶新成バスは昭和58年に、バスロケーションシステムを導入。利用者の評判も上々だ。



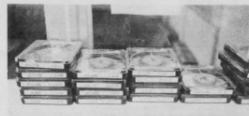
した。当時の新成バスは、黄色の車体で、利用者からは「たくわんバス」の愛称で親しまれていました。「道路は未舗装でデコボコ。雨が降ればグチャグチャ、天気だと砂ぼこりで大変でした。」と当時ドライバーとして市内を走っていた運転手さん。それでも、自動車も少なくてのんびりしていたそうです。逆に、最近では、道路は整備されてはきていますが、モーターゼーションの急激な発達により自動車が急増、駅周辺の渋滞などでバスの正常な運行も難しくなっています。特に、朝夕のラッシュアワーなどには、時刻表通りに運行できないのが悩みの種とか。市では現在こうした交通問題解決のため道路網の整備、JR船橋駅北口の地下駐車場建設、同南口の再開発事業、京成本線の連続立体交差化などの事業を急ピッチで進めています。今、市民の足としてますますその重要性を増していく路線バス。乗客へのサービスも降り降りしやすい低床式バスの導入、車両の冷房化、バスロケーションシステムの採用や深夜バスの運行など利用者のニーズに積極的に応えています。21世紀に向けて、今後どのような形で発展していくか楽しみです。



諏訪神社(山手3)からJR西船橋駅に向かう。この日は給料日前日の休日だったので、普段より乗客は少ないという。



雨の日の翌朝、事務所には山ほどの傘が集まった。(京成バス花輪車庫)



車内案内用のエンドレステープ



花輪車庫午前6時。その日走る路線に向けバスが次々と発車していく。



JR津田沼駅北口には、京成と新京成が乗り入れている。



緊張感みなぎる出庫前の点呼。(京成バス花輪車庫)



新京成バスが市内を走り始めた昭和28年当時使用していたボンネットバス。



木下街道を走る京成バス(法典小付近)



運転は、発車とブレーキ時が一番神経を使う。



「最近車がが多いね」と乗員休憩室で



低いステップで和服でも安心。



運転席にあるモニターは後方安全確認用。



運転手さんが小休止の合い間をみて洗車。



空席時でも総重量約14tのバスを止めるディスクブレーキ



豊富町にある新京成の整備工場

みんなを乗せて 頑張る路線バス



静かなたたずまいの境内

以前、本堂横に「あかもん幼稚園」があった。こどもたちのかわいい声でお寺さんも一日中にごやがだだったが、園児数の減少で昨年三月廃園になった。(文・大木勲)

昔から「赤門のお寺さん」で親しまれている西海神の大覚院。今もその小さな山門は朱塗りである。旧街道に面し、車の往来も激しいので、車やら足元やらに気を取られていると、うっかり通り過ぎてしまおう、そんな至って庶民的なお寺さんである。

山門をくぐる。正面にくぐく普通の本堂、境内に二、三の小堂がある。すぐ目にとび込んでくるのが、左手の「南無大師遍照金剛」と紺地に白字で染めぬいた旗、三十本近く。風あれば一斉に揺れ、止めばひっそりと冬の陽を浴びている。その旗に囲まれて、檀信徒から「お大師のお庭」と親しまれている。四国八十八箇所のお砂踏みが作られている。札所何番の各踏石の下、現住さんが現地の一寺一寺を廻って頂戴してきた、寺ごとのお砂が埋められている。ありがたない、苦がな。歩幅が広くあるいは狭く重なり合うようになっているのは、札所間の実際の距離におおむね比例させて作ってあるからと、歩いてみると実際に札所巡りを体験しているかのような満足感をおぼえる。



山門から本堂を望む
新ちかのか文化財
大覚院
(海神6)

JR船橋駅北口にある新京成バスの定期券売場
給料日(25日)以降が特に忙しい。



▶どんな欠陥も見逃さない厳しい点検(新京成豊富整備工場)



トピックス



文化ホールで成人式 1万117人が新成人に

1月15日(祝)、市民文化ホールで成人式が行われました。今年市内で成人式を迎えたのは、昭和43年4月2日から44年4月1日の間に生まれた人1万117人で、初めて1万人を超えました。大橋和夫市長から「これからは皆さんの時代です。皆さんの知恵とエネルギーで船橋のまちをつくりあげてください。」と挨拶があり、新成人の皆さんも力強くうづついていました。なお、当日は青春スター・森田健作さんの熱気あふれる講演と歌があり、会場も一体となって盛りあがっていました。

新成人で埋めつくされた市民文化ホール前。



青春について語る森田健作さん



式は3回に分けて行われた。

成人の日記念駅伝競走大会 中学の部では御滝中が優勝

1月15日(祝)、成人の日記念駅伝競走大会が行われました。運動公園から豊富小を経由して運動公園に戻る7区間23.4kmのコースに中学・高校・一般の3部に63チームが参加、健脚を競いました。その結果、中学の部は御滝中、高校の部は市立船橋高校、一般の部は北の丸A・Cがそれぞれ優勝しました。



この日、約600人の市民が参加、気持ちよい汗をかいた。



2区を力走するみなさん(新高根6丁目付近)



ウォーターフロントのジョギングは気分最高

問合せ

船橋海浜公園 ☎ 0828 (月曜休園)

船橋海浜公園

完成
ジョギングロードが

コースは、ブルの外周をまわる500mと、同公園をひとまわりする1000mの2種類、コースには100mごとに数字とイラストが表示されています。潮風に吹かれながら走ってみませんか。

「森の中の写真展」と題した初めての写真展が1月15日から8日間開催されました。これはワンパク王国と船橋市写真連盟が協力して行ったもので、昨年末行われた「ワンパク王国大撮影会」の作品とこの1年間、入場者が自由に撮ったものと合わせた180点が「手づくりハウス」前の木立の中に展示されました。1月22日の最終日には表彰式が行われ、市長賞、ワンパク王国大賞、写真連盟賞他多くの賞が各受賞者に贈られました。

大好評だった 森の中の写真展



力作がずらりそろった写真展

ワンパク王国だより

大勢の入場者で にぎわった生活展

第23回船橋市生活展が、1月19日(木)から24日(火)まで東武百貨店船橋店で開催され、大勢の皆さんでにぎわいました。今年のテーマは「今、豊かな生活の中—情報はある目で—」。市内の消費者団体の研究成果を発表する場としてすっかり定着した生活展。「今、農薬の害を訴えたい」「未成年者とアルコール」「子どもと健康と予防接種」などの展示コーナーでは、熱心にメモをとる人の姿も見えました。また、「桜もち」「どら焼」の作り方・合成着色の検出テストなどのアトラクションコーナーやパネルクイズ等でも人気を集めていました。



千葉主婦同盟船橋支部が企画した「未成年者とアルコール入り飲料」のコーナー。

「もったいないと思う会・プラスワン」が企画した「ストップ・ザ・浪費、衣のくらし」。衣類のリサイクルについて市民の意識を調査した。

安全で住みよい地域づくり を目指し 消防出初式行われる

昭和最後の日となった1月7日(出)、オートレース場駐車場で新春恒例の消防出初式が行われました。式に先だちこの日崩御された昭和天皇に黙とうをしたあと、県知事表彰をはじめ各表彰、企業などの自衛消防隊による消火栓操法などが行われました。最後に消防局車両による一斉放水が行われ、幕を閉じました。



市長表彰をはじめ各表彰が行われた



寒さの中、たくさんのお客さんが集まりました。



フィナーレは消防車による一斉放水。



運動公園陸上競技場をスタートした参加者の皆さん。

新春恒例の元旦マラソン 1239人が走り初め

新春恒例の元旦マラソンが、中学生から81歳まで1239人のランナーが参加して行われました。今年からコースが運動公園内の周回コースに変わりましたが、自動車を気にしないで思い切り走れると参加者にも大好評。高校・一般男子・オープンの部には、昨年12月の全国高校駅伝で5位と健闘した市立船橋の選手も参加、上位を独占しました。



飯沼 珠江さん
琴恵ちゃん
(宮本6)
東船橋駅前

生まれからずつと住んでいます。東船橋駅ができてから道路も整備され街がきれいになりました。近くに公園もいくつかあるし、環境には満足しています。ただ、近くに大きなスーパーと公立の幼稚園があればいいのですが。

宮下 秀吉さん
(七林町)
北習志野商店街で



健康で成人式を迎えられたことに大変感謝しています。家では父が「まるでお嫁にいらしてしまっようた」と一番喜んでくれました。新しい時代を迎え、船橋も緑に恵まれた、伸び伸びと暮せるまちになってほしいですね。



鈴江 麻衣子さん
(海神町3)
市民文化ホール前で

ちよっとお話しを
伺ってみました

街角ホットニュース

市内在住の留学生を招いて ニューイヤーパーティー

1月14日(土)、市役所で「船橋在住留学生ニューイヤーパーティー」が行われました。これは、市内にお住まいの留学生の皆さん相互の交流を深めようと船橋市国際交流協会が主催したもので今回が第一回。当日は、アメリカ、中国、オーストラリアなど13か国から68人が参加、国際親善ボランティアの皆さんと懇談したり、市内在住のシンガーソングライター・伊藤薫さんの歌やカラオケ大会などで時のたつのも忘れて楽しんでいました。



一人ひとり自己紹介する皆さん



参加者同士大いに会話がはずみました。



外国人英語講師も参加。



市内在住のシンガーソングライター伊藤薫さんのミニコンサートも行われました。



参加者全員による「大船橋音頭」の大合唱でパーティーの幕が閉じました。

大穴中の工芸クラブが デパートで「型絵染展」

大穴中学校工芸クラブが、1月2日から4日まで東武百貨店船橋店で「型絵染展」を開催しました。会場には、美しく染め上げられた付け下げ、着尺、帯など約50点が展示され、訪れた人はその見事さに感心していました。



とても中学生の仕事とは思えない出来栄にビックリ。



クラブ員による染めの実演

私のカメラアイ

自然のやさしさを (写真と文) 松村八重子 (夏見台1)



私は、緑や水など自然を撮ることが好きです。遠くにも行きますが、遠出できないときはよく運動公園に行きます。アスレチックと水遊び場では、子どもたちが生き生きと走り回り、そばで大人たちもゆったりと太陽を浴び、それはそれはとてもいい顔をしています。思わず「写真を撮らせて下さい。」と声をかけパチリ…。それから、足が自然と海老川に向います。今

日もいつもの場所に鴨が四羽、どうやら会議中の様です。犬と散歩する家族、静かに釣糸をたれる人、雀の群がる柳の木、春になると咲き誇る桜、白鷺が低く水面を飛んでいきます。被写体はいっぱいあります。気がつくと、夕陽が空を赤く染めてきました。傑作を願いつつ自然のやさしさに感謝し、家路に向います。これからも自然の表情を追い続けたいと思っています。



みんなの会館が完成!

中台町会(穴倉薫会長)と高根東町会(塚原八郎会長)高根木戸東町会(寺田惣一郎会長)に待望の会館が完成しました。それぞれ、各町会の皆さんの長い間のご努力が実を結んだもので、町会活動の拠点として、利用されることとなります。



昨年10月8日完成した高根木戸東会館



昨年12月24日完成した中台町会自治会館。1月11日には農家組合の新年会が行われた。

お父さんも熱中!! 手づくりタコあげ大会

1月15日(祝)、芝山6丁目町会(原学会長)で「手づくりタコあげ大会」が行われました。参加したのは親子50人。皆さんは悪戦苦闘しながらもタコづくりに取り組んでいました。町会婦人部の皆さんの心づくしのおもち入りトシ汁でお腹をふくらませたあと広場でタコ上げ。参加した皆さんは、来年もやってみたいねといながらタコあげに熱中していました。



お父さんも楽しそう



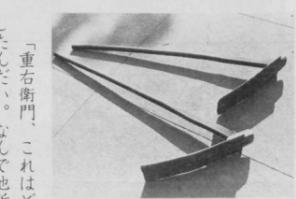
みんなの力作が勢ぞろい。

ふなばしの民話

重右衛門ばなし(二) 一直線の田耕い

[文・村上昭三]

重右衛門は、二子村現、東中山一(二丁目)の大尽の家で働いていました。底冷えのする寒いある日の朝、旦那は重右衛門に田耕(たうな)いを命じました。重右衛門は、しぶしぶと重い腰を上げ、「旦那、何処の田圃を耕うんですか」と不満そうにいいました。そこで、旦那は少し高台にある屋敷の庭から近くの田圃を見ろし。「重右衛門、ほーら、向うの田圃に鳥が見えるだろう。庭を下りて行った所からあそこまで耕ってくれ」と指を差しながら、再び強い調子でいいつけました。



重右衛門が使ったといわれるクマ。栗原忠平さん(市川市)所蔵

重右衛門は、黙って田圃に行き、稲の刈り跡を三尺(約九十釐)幅位に、鳥のいる所までとんとん耕っていききました。ところが、鳥は重右衛門が近づくと、十間(約十八米)程先にバツと飛びました。また鳥を目標として耕いました。これを何拾回も繰り返しました。旦那は、昼飯を告げようと

「重右衛門、これはどうしたんだい。なんで他所様の家のものまで耕うんだ」と怒っていました。すると、重右衛門は「旦那、朝がたに鳥のいる所まで耕えといました。しかし、鳥の奴、近づくとビヨンと先に飛びます。それで、全く折り返しが出来ねえです」といって、前方で顔をあざついている鳥を目標として耕っていました。これを見た旦那は、今朝がたの重右衛門の様子に初めて気がつきました。そして、この変人ぶりに心底からためてあげました。これ以上怒ることもまた昼飯の連絡のことも忘れ、その場をさっさと引き揚げたということです。



1月15日に行われた高根東会館の落成式

力が入ったもちつき大会

12月18日(日)、夏見南児童遊園でもちつき大会が行われました。これは、三菱子ども会と三菱自治会の若手?の集まりである正新会の皆さんが主催したもので、当日のメニューは、もちつき大会をはじめ、焼ソバ、おでんなどの模擬店やバザーなど盛り沢山。会場は、毎年楽しみにしているという皆さんでいっぱいでした。

撮影：並木幸子さん(夏見4)



児童遊園がコミュニティー広場に変身。

手先のことが
好きなんです。

鈴木一子さん
(芝山6)

ART



「タンスを開けたときの藍の香りが好きなんです」とおっしゃる鈴木さん。現在は、藍染を中心に、アートフラワー、千代紙人形など様々なことをやっています。「小さいころから手先のこと好きだったですね。藍染を始めたのは5年前です。ちょうど読んでいた新聞がきっかけでした。今までに、帯、のれん、テーブルセンターなどを作りましたが、今

年は、着物を作りたいですね。」と鈴木さん。また、少しでも地域の活動に役立てればと町会行事にも積極的に参加。昨年の春には、和紙を使ったカブト作りの講習会を開き大好評だったそうです。「基本は基本として、自分の好きなようにアレンジするのも楽しいですね」と鈴木さん。部屋には、鈴木さんの作品が、やさしく飾られています。

ブランド物は着る
服の中で一つだけ。

上野祐美子さん
(東船橋3)



マイ・ファッション

今年成人式を迎えた上野さんはサポートロビール千葉場にお勤め。「津田沼によく買い物に行きます。ロングは背が低く見えるので買いません。緑色が好きで持っている服も緑色を中心に地味な色が多いです。ブランド物は、着る服の中で上着だけなど、一つだけ使うという感じです。今日は辛子色のセーターに、大好きな緑色のジャケットとスエードのスカート。首に巻いた流行のスカートと全体の色との組み合わせが奇麗にまとまっています。

サークル通信



文化祭では、みんなで「コッペリア」(ドリーブ作)を披露しました。



リズムにのって楽しいレッスン

中山バレエ同好会
西部公民館

会員は3歳から中学生までの女の子が中心で、毎週水曜日に集まります。練習は基礎トレーニングが中心、トゥシューズは10歳から履きます。「バレエは重量上げのような固くて強い筋肉を作るのではなく、強くてしなやかな体を作ります。毎日練習すれば毎日伸びます。」とおっしゃるのは7年間指導を続けている水谷寿美子先生。体が柔らかくなり姿勢が良くなったと迎えのお母さんにも大評判です。

(連絡先: 西岡智恵 ☎0473-21443)

夏見公民館
茶道サークル

「お茶をいただくときよりも、たてる時の方が緊張しますね。」公民館活動として楽しい雰囲気の中で茶道に親しめるようにと始まったこのサークルも、今年で創立11年目を迎えました。指導は田中宗艶先生(裏千家)。お茶に親しまうようになって32年になるそうです。会員は20代から70代までの女性が22人、サークルに入って初めてお茶をたてた方も多しとか。和やかな雰囲気の中でお稽古が進みます。あたたかく暮す現代人にとって、文字どおり茶道は人生の清涼剤と言えます。(連絡先: 佐藤千鶴子 ☎245474)



和気あいの楽しいサークルです

丸山公民館
藤の会

昭和56年から活動を開始した藤の会は現在会員26人。先生は戸田紀久子さん、この道15年の大ベテランです。おじゃましたこの日のテーマは小物入れ。初心者でも2時間ほどで編めるそうです。慣れれば椅子やついたたなど家具類も作ります。「できあがったものは家で飾ったり近所の友達にプレゼント、喜ばれています。」と江頭さん。手際よく藤を編みながら話をしてくださいました。(連絡先: 江頭みさ子 ☎24233)



藤は水でぬらして柔らかくしながら編みます。



今日は「初釜」。さすがにみなさん和服がお似合いです。



まず「お濃い茶」をいただく

アイ・ラブ・フナバシ

よその国に来た
気がしません。

劉 健新さん
(習志野1)



お店
豆腐本来の
うまさ求めて

矢作清司さん
(本町4)



湯気と豆腐のふくよかな香りの中で、矢作さんご夫婦がテキパキと動いている。「父が本家から分かれてここで店を始めたのは昭和11年。最初は、オケを担いで売ってました。法典の方にもお得意さんがいましたね。」と奥さん。お店で作っているのは、豆腐と揚げ油。そしておから。揚げ油を揚げるのは昔から奥さんの仕事とか。何ったのは、冬にしては暖かい日でした。こういう日は売れゆきも鈍いそうです。お話を伺っていると、防犯剤など一切使っていない豆腐や揚げ油、新鮮さが人気の秘密のようです。

「日本は家の造りも人の顔も私の国とそっくり。街には漢字が多く親しみが有り、よその国に来たという感じがしませんでした。」船橋市で暮して二年目という劉さんはお隣中国の留学生、船橋市と交流が続く西安市の出身です。西安公路学院という大学の助教でもあり、現在は「橋」の設計・建設技術を勉強中。帰国後は若い学生に日本で研究した技術を教え



る予定です。「船橋は便利で住みやすく、何よりスポーツが盛んでいます。」と劉さん。「日本語の勉強にもなるから、習志野の自治会館で中国語講座の講師も務めています。」一月十四日には、市内在住の外国人留学生のためのニューイヤーパーティーに参加。これからは世界各国の人と親睦を深めたいと意欲を燃やしていました。



1月14日から29日まで広報「大穴だより」写真展が海老が作公民館で開催され好評でした。

あしがき



丸山2丁目にお住まいの山下瑠璃子さんが自宅で撮影したヒヨドリ。

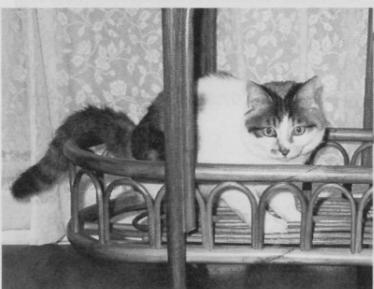
■一月十五日、成人式でゲストの森田健作さんの講演を聞く。その中で、青春とは何かという話があった。青春時代とは十代後半から二十代前半までの人生における活発な時期を言い、青春とはある目的の実現のためにがむしゃらに努力を凝らすことである。そう、人間、死ぬまで青春だったのだ。(可)

■子どもころ、よくバスに乗った。当時若い女性が車掌として乗務しており、乗車券の発売や車内アナウンスをしたり、踏切では、バスから降りて安全確認をしたりしていた。そして現在、料金は機械アナウンスはテープになってしまった。取材でバスに乗ったとき、ふっと、ここにやかに車内を動きまわったの車掌さんの姿が見えたような気がした。(一)

■このころ女性の写真熱がすごい。写真展や講座などでも本道もその活躍がはげまされた。この誌面もその活躍の持ちエッセイを最大限お借りして面白く活気のあるものに育てたいと思います。ちよつとした身の回りの出来事、思ったこと、何でもどしどし写真にしてお寄せください。おっと男性の方、勿論大歓迎です。(雄)

ペットインタビュ

(撮影: 伊藤薫さん)



私の名前は「ミー」。黒茶白のミケネコ、もちろんメスです。8年ほどまえ、ひよんなことか今の主人にお世話になることになりました。主人の名前は伊藤薫。海の見える街で「ヤラフイソオバー」を作ったシンガーソングライターです。体の弱い私のためにいろいろ好物のマグロや鳥のササミを食べさせてくれます。そのお礼と言っはなんですが、ご主人が寝坊したときは顔をなめて起こすことになっています。

ビデオ講座

⑤ 卒業式・入学式を撮る



真新しい制服・カバンもアップで撮りましょう

今回は親にとっても子にとっても人生の節目となる卒業式、入学式の撮り方を考えてみましょう。撮影は、家で準備をしていると学校の校舎や校庭でできる教室や廊下の様子も撮りましょう。式典の最中は動き回れないので、なるべく前の席かビデオカメラを回している式典の妨げにならないような場所をさがします。体育館に入ったらず必ずホワイトバランスを取り直します。蛍光灯の光は画面のチラつきが起るので、ファインダーで確認しながらシャッタースピードを百分の一秒程度に調整します。式典では自分の手も撮りたくて、友達や父母、先生も写しませう。長いカットになりませんが、送辞や答辞、校歌や「ほたるの光」など音が中心の行事も記録しておきたいものです。子どもに今の気持ちをインタビューするのも良いでしょう。

協力: 視聴覚センター

スポーツで健康ふなばしっこんいちば



第23回船橋市生活展では、ビデオや写真を活用し、視覚に訴える展示などが増したことも話題のひとつとなりました。写真は左から、開催にあたりテープカットを行う実行委員長の大橋和夫市長、副実行委員長の尾田愛子全婦連委員長、東武百貨店船橋店の鈴木忠男店長の皆さん。（関係記事10ページ）



1月5日(木)、夏見児童ホームで書き初め大会が行われました。会場となった講堂は墨の香りでいっぱい。参加した子どもたちも一生懸命筆を運んでいました。



1月21日(土)、海神小学校管弦楽クラブの第15回定期演奏会が行われました。この日のために毎日練習してきた皆さんの演奏はすばらしく、会場からは盛大な拍手が送られていました。